

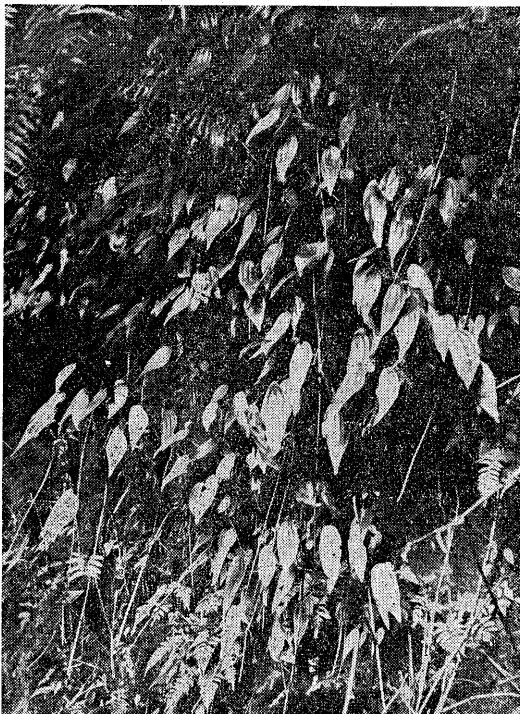
○カワノリ大臺ヶ原本澤川に産す（小清水卓二）Takuji KOSHIMIZU: *Prasiola japonica* Yatabe was collected at Honzawa-river of Mt. Oodai.

カワノリ *Prasiola japonica* Yatabe は、日光大谷川、武州奥多摩、相州相模川、駿州富士川、九州菊池川、臺灣阿里山々中（佐藤正己 1935）等日本中部及び關西地方を除いて、關東から九州臺灣までの不連續分布が知られているが、1951年8月京大名譽教授川村多實二氏を主班とする關西自然科學研究會で、大臺ヶ原山の綜合調査を行つた際、筆者は三重縣大臺ヶ原山麓の溪流本澤川の角岩を主體とした岩塊に多數のカワノリ（當時の成育の大なるものは、長さ 5cm、幅 3cm）が美事に着生生育しているのを發見した。

目下山間の激流地帶に生育する特異な生態、分布、生殖法等興味ある問題が今なお残されているこの植物が、いつかの日何人かによつて研究對象となる事を望んで茲に新產地を記録しておく。

○スジヒトツバ遠州に産す（齊藤全生）Masami SAITŌ: *Cheiropleuria bicuspis* Presl var. *integrifolia* Eaton found in Prov. Tōtōmi.

スジヒトツバは從來八丈島、伊豆、伊勢、紀伊、大隅等の太平洋に面した暖い地方に産することが知られ、その中でも伊豆熱川は北限とされていた。處が昭和26年12月遠州掛川在にエダウチホングウシダの產する場所を見つけたから見に行かないかと黒澤



美房氏から話があつたので同氏の案内で其所に出掛けた處同行した戸田英雄君（静岡大學教育學部學生）が岩壁についている本種を見つけたのである。此の附近にはタイミンタチバナ、ルリミノキ、カギカズラ、フウトウカズラ等の暖帶植物がよく繁り岩膚には前記エダウチホングウシダの他にヌカイタチシダ、イワヒトデ等もある點から見て渓谷の爲寒風の當らぬ案外暖かな處らしい。なお此の渓谷からやや離れて此所と條件の似た渓谷にはオリズルシダ、クリハラン等の暖地性の羊齒が見られる。寫眞は黒澤美房氏撮影のもの。

（静岡大學農學部）